

一般社団法人Unicul Laboratory 2019年度事業報告書

2020年3月



2019年度事業報告書によせて

日頃より、弊団体の活動に対し温かい応援をお寄せいただき、誠にありがとうございます。

法人化して2期目の2019年度は、昨年に引き続き、会津若松市、長野県伊那谷地域での企画を無事に開催することができました。また、2月には、約1年の準備期間を経てマンスリーサポーター制度を開始しました。コアメンバーの人数も約2倍に増え、組織としても大きな成長を遂げることができた1年となりました。

年度の終わりには新型コロナウイルスの感染拡大が社会的な脅威となり、企画の中止・延期にも見舞われました。そのような中でも、休校中の高校生の進路選択を支援するためにオンラインでの企画を開催したり、これまで対面で行ってきたワークショップをオンラインで行えるよう準備を始めるなど、社会の変化の中でも「若い世代に、未来を描き、切り拓くチカラを」届けるべく、活動を進めています。

先行きの見えない社会環境ではありますが、そのような中でも活動を続けてこられているのは、本当に多くの方のご支援のおかげです。改めて、心より御礼申し上げます。これからも「誰もが、自分の人生に納得感とオーナーシップを持って、それぞれの未来を歩んでいける社会」の実現を目指し、活動を続けてまいります。引き続き、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

2020年3月

共同代表理事 丸谷華織・永野あきほ

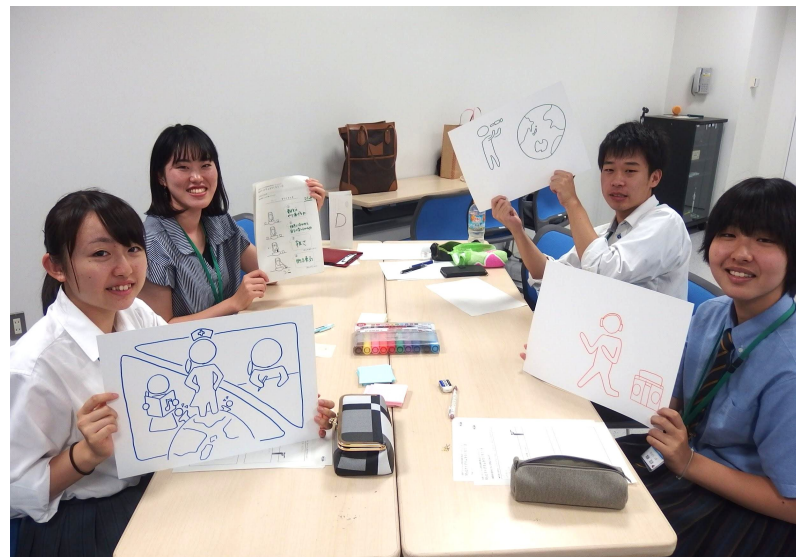
2019年度の主な活動

2019年6月	・法人化1周年を記念し、初のOBOG会を開催 ・長野県伊那弥生ヶ丘高校にて「伊那谷サマースクール2019 in みのわ」の広報の一環としてワークショップを実施
2019年7月	・会津若松市グローバル人材育成事業の運営を実施（～10月）
2019年8月	・会津若松市「あいづ未来人材育成塾2019」に大学生チューターとして参加し、ワークショップを設計、実施 ・「伊那谷サマースクール2019 in みのわ」を開催
2020年1月	・伊那北高校の総合学習にて企画を実施
2020年2月	・マンスリーサポーター制度をスタート
2020年3月	・伊那谷サマースクール2019の参加者向けにオンライン企画を開催

活動紹介①

会津若松市グローバル人材育成事業

- 会津若松市が会津地域の高校生を対象に実施する事業です。参加者は約4ヶ月の期間中、ネイティブスピーカーとの英会話や、大使館、JICA等の訪問に加え、ワークショップを通じて、グローバルな視点を身に付けます。Uniculが運営を受託するのは、今回が3年目となります。
- Uniculでは6月～9月の期間中に＜Queque＞をベースとした4回のワークショップの企画・運営を行うとともに、10月に開催された成果報告会の資料作成支援・報告会運営を行いました。身近な「グローバル」を探ることからスタートし、ありたい姿から自分の将来を設計し、改めて自分の考える「グローバル」について考えを深めました。



活動紹介②

あいづ未来人財育成塾2019

- 未来人財育成塾は、会津若松市が主催する中学生対象の合宿形式のプログラムです。社会の第一線で活躍する講師陣の講演とグループワークを通じ、次世代のリーダーを育成します。Uniculが運営を受託するのは、前身となる企画をあわせて、今回が5回目となります。
- 今年度は、2019年8月18日(日)～21日(水)の3泊4日で開催され、中学生36名が参加しました。Uniculでは、＜講義を振り返るパート＞の運営と、＜自分について考えるパート＞の計3種類のワークをを設計・運営しました。また、大学生チューターとして中学生と期間中寝食を共にし、中学生の学びをサポートしました。



活動紹介③

伊那谷サマースクール2019 in みのわ

- 2019年8月5日(月)・6日(火)に、自主事業として、長野県上伊那郡箕輪町にて、上伊那地域の高校生対象の2日間のサマースクールを開催しました。昨年に引き続き2回目の開催となりました。
- 「一緒に描こう！ ”いいな” と思える未来の自分」をコンセプトとして、＜Queque＞のワークショップのうち「人生路線図」「ピクトグラム」「無人島Quest」の3種類と、地域で活躍する方との交流企画などを組み合わせたプログラムを実施しました。高校生計11名が参加しました。
- 当日は地域の皆さまにも多数ご参加いただき、昼食・レクリエーションの時間には高校生との活発な交流が行われました。



活動紹介④

伊那北高校・総合学習

- 2020年1月9日(木)に、長野県伊那市の伊那北高校にて、総合学習の2時間を頂き、高校2年生200名(5クラス)を対象として企画を行いました。
- 「大学生・若手社会人の進路選択の経験を聞いて、自分自身の進路を考える」、「他者に自分の進路を表明できるようにする」ことを目標に、大学生・社会人スタッフのプレゼンテーションとグループワークを組み合わせた企画を構成しました。Uniculとしては4年ぶりの高校での企画開催となりました。
- 大学生・社会人スタッフ10名が参加し、自らの進路選択の経験を語るとともに、企画の進行・ファシリテーションを行いました。



活動紹介⑤

伊那谷サマースクール2019の参加者向けに オンライン企画を開催

- 2020年3月15日(日)に、伊那谷サマースクール2019の運営スタッフ有志で、参加者の高校生を対象にオンラインでの企画「春休みを充実させようプロジェクト」を開催しました。
- 高校生4名と大学生・社会人のスタッフ4名が半年ぶりにオンライン(LINEビデオ通話)で再会し、近況報告を行うとともに、今年の目標を考えるワークを行いました。最後には、春休み・4月から頑張ることを一人ひとりが宣言しました。
- 全国の学校の休校決定を受けて、急遽高校生を支援するために企画を行ったもので、Uniculとして初めてのオンライン企画となりました。



ハイライト①

マンスリーサポーターの受付を開始

- 2020年2月19日より、Unicul Laboratoryの活動を毎月の寄付で応援いただく「マンスリーサポーター」制度を開始しました。また、1回ごとの寄付についても、合わせて受付を開始しました。
- 団体の財務基盤の向上を図るとともに、「運営に参加する」以外の活動への関わり方の選択肢をつくることを目指して、制度を開始しました。
- マンスリーサポーターは、月300円・500円・1,000円から金額をお選びいただき、継続的にご支援いただけます。
- マンスリーサポーター、1回ごとの寄付を問わず、ご支援を頂いた方には、サポーター限定の活動報告、サポーター交流会への参加、主催ワークショップ・イベントへの参加割引(不定期開催)の特典をご準備しております。



Unicul Laboratory
マンスリーサポーター
大募集！

思い思いに、未来を語る。
思い強くつながる。
Unicul
LABORATORY

ハイライト②

組織体制の強化

- 2019年春の採用を経て、コアメンバーが約10名から20名に倍増しました。従来は役割分担を明確に行わず、全員がプロジェクトの運営を行いながら広報・人事など複数の役割を持って運営していましたが、メンバーの拡大に伴い、「事務局」として広報チーム・人事チーム・戦略チームの3チームを立ち上げて、事務局メンバーを中心に組織運営を進めていく形に変更しました。
- この体制で半年間程度活動を行った中で、新たに出てきた課題に対応するため、2020年1月より、既存のチームを組織ユニット(組織運営担当)・事業ユニット(プロジェクト運営を担当)に再構成しました。
組織ユニットの中では、人事・広報・ファンドレイジングの各担当が綿密に連携しながら組織運営を進めています。また、事業ユニットのメンバーがプロジェクトをより円滑に運営するために、組織ユニットのメンバーがサポートや研修制度を整え、伴走していきます。
- 今後も、活動の形や組織の課題にあわせて、柔軟に組織体制を見直しながら、よりよい活動の形を追求していきたいと思えます。

メディア掲載

- 長野日報(2019年7月2日)**
 長野県伊那弥生ヶ丘高校のホームルームにて実施したワークショップの様子が掲載されました。(右)

- 伊那ケーブルテレビ／伊那谷ねっと**
(2019年8月5日)
 「伊那谷サマースクール2019 in みのわ」の様子が、
 夕方のテレビニュースにて紹介されるとともに、
 ニュースサイトにも掲載されました。(下)

<https://ina-dani.net/topics/detail/?id=54387>



登壇など

- **伊那市中学生キャリアフェス(2019年11月14日)**

市内の全中学2年生(約650人)が参加し、地域の仕事や文化の体験、大人との交流を通じてキャリア(生き方)を考えるイベント。

メンバーの上山が、地域の中学生に向けて、「大学生が中学生に伝えたいこと」というテーマで、進路選択に関してお話をしました。



- **福岡市NPO・ボランティア交流センター
「Being Asumin ～市民公益活動を語る～」**

(2020年1月8日)

福岡市の市民公益活動に関する施策検討の一環として開催された企画。

共同代表理事の丸谷が登壇し、福岡市市民局コミュニティ推進部長の藤本様との対談形式で、Uniculの活動やパラレルキャリアについてお話をしました。



団体概要

名称	一般社団法人Unicul Laboratory(ユニカル・ラボラトリー)
設立	2012年4月14日(任意団体Unicul Laboratoryとしての活動開始) 2018年6月4日(一般社団法人格取得)
目的	中学生・高校生をはじめとする若年層が、自らの人生を設計する力を身に付け、主体的に社会に参画できるよう、様々な機会を創出する
事業	(1) キャリア学習イベント等活動の企画・実施事業 (2) 中学校・高等学校等におけるキャリア学習・進路指導等の支援事業 (3) キャリア学習に関する普及啓発事業 (4) その他上記の目的を達成するために必要な事業
役員	共同代表理事 永野 あきほ 共同代表理事 丸谷 華織
メンバー	コアメンバー 大学生・社会人ボランティア 25名(2020年3月現在) その他、当日スタッフとして多数の大学生・社会人が参加

財務状況 - 損益計算書

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

科目	金額
売上高	1,373,086
売上原価	0
売上総利益	1,373,086
販売費及び一般管理費	1,081,673
営業利益	291,413
営業外収益	202,404
営業外費用	3,560
経常利益	490,257
特別利益	3
税引前当期純利益	490,260
法人税、住民税及び事業税	179,800
当期純利益	310,460

主な収入

委託事業収入(会津若松市グローバル人材育成事業、あいづ未来人財育成塾)
学校事業収入(伊那北高校)
参加費収入(伊那谷サマースクール)
交付金(長野県箕輪町)
受取寄付金

主な支出

交通費・宿泊費
会議費(会議室代)
通信費(ホームページサーバー代・ITツール利用費)
委託費(伊那谷サマースクール)
消耗品費(ワークショップ使用物品) 等

財務状況 - 貸借対照表

自 2019年4月1日
至 2020年3月31日

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	1,197,734	流動負債	238,528
現金及び預金	1,173,754	未払金	58,728
前払費用	22,580	未払法人税等	179,800
未収入金	1,400	負債合計	238,528
固定資産	0		
投資その他の資産	0	(純資産の部)	
		設立時純資産	546,441
		利益剰余金	412,765
		純資産合計	959,206
資産合計	1,197,734	負債・純資産合計	1,197,734

一般社団法人 Unicul Laboratory

- ・ホームページ: <http://unicul-lab.net>
- ・団体メールアドレス: info@unicul-lab.net
- ・Facebook: <https://www.facebook.com/UniculLaboratory/>
- ・Twitter: [@unicul_lab](https://twitter.com/unicul_lab)
- ・Instagram: [@unicullaboratory](https://www.instagram.com/unicullaboratory)